

中部部報 第2号

2016. 7. 1～2017. 6. 30

主 題

国 際 会 長 私たちの未来は、今日から始まる。

ア ジ ア 会 長 ワイズ運動を尊重しよう。

西日本区理事 ワイズ魂で更なるワイズの活性化を！

中 部 部 長 出会い、ふれあい、響き合い、前へ進もう

謹 賀 新 年

あと半年、宜しくお願いします。

中部部長

川口恵（名古屋クラブ）



前半期の活動報告

8月の中部部会では、125名もの皆様にご参加頂き、また準備から片付けまで多くの皆様のご協力ありがとうございました。

部長主題は「出会い、ふれあい、響きあい 前へ進もう」、副題は「ワイズライフを楽しもう」です。活動方針は①各事業への参加や例会や交流会を通してより多くのひとと楽しみをわかちあおう、②中部の未来を考え各自が今できることをしよう、③ワイズ行事の情報共有の推進です。

情報共有に関しては、各事業活動報告はクラブブリテンのほか、各事業主査により中部ホームページにも掲載されています。また、毎月の部長通信でも日和田だより、南山農園だより、金沢農園、そして熊本支援報告につ

いて記事をお寄せいただき掲載しています。

部長通信も是非毎月ご覧ください。

<Yサ・ユース事業>

日和田キャンプ支援、金沢 YMCA70 周年記念例会、名古屋 YMCA 大会や日本 YMCA 大会への参加、名古屋 YMCA バスケットボール大会、名古屋 YMCA チャリティラン、南山ピースフルサンデー、名古屋 YMCA クリスマスカードコンテストやクリスマスキャロルなどの支援が行われました。また名古屋地区4ワイズ合同クリスマス例会へリーダー25名を招待し、堤Yサ事業主任もお迎えして、リーダー、YMCA スタッフ、ワイズの合同のクリスマス例会となりました。

<地域奉仕・環境活動>

名古屋クラブではメネット事業として障がい者施設へのクリスマス訪問、南山クラブでは地域へ向けたコンサートの開催支援や、南山農園への福祉施設児童の招待などがありました。

<EMC 事業>

EMC シンポジウムの開催（11月26日）の

ほか、各クラブの定例会では、ワイズの在り方を考える、ハローウーン、芋ほり&ピザパーティ、サロン・コンサート、ワイン講習会、ウナギを食べる会など研鑽を積み、親睦を図り、おいしい料理を楽しむ例会が行われています。

<国際・交流事業>

台湾での国際大会への参加と南山クラブのIBC 交流、中部部会への多くの参加、他の部会への参加、グランパスクラブ、東海クラブのDBC 交流会などがありました。ワイズの輪が広がっています。

<メネット事業>

中部部会でのメネットアワー開催のほか、メネット事業研修会へ主査が参加しました。

今後の中部の予定については、部長通信にも毎月記載しております。ご予約いただき参加可能な行事にご参加ください。なお、3月18日・19日は大阪コロナホテルにて次期会長主査研修会、5月27日に中部評議会を予定しています。

クラブ例会充実で

ワイズの発展を

書記：谷川 修（名古屋）

今期も半分が過ぎました。前期は部会があり、EMCシンポジウムがあり、YMCAの行事も多く、ワイズメンズクラブの活躍が目立った時ですが、後半期は、年度の締めくくりと新年度の始まりという時期と重なり、ワイズメンズクラブとしての大きなとりくみは少ない時でもあります。ここは、じっくりとワイズメンズクラブの充実と発展に、各クラブ単位で思いを馳せてみるのも良いのかもし

れません。そのひとつが、やはりクラブ例会の内容充実ということでしょうか。ワイズメンズクラブの基本はやはり、各クラブにあることを思います。それぞれのクラブが、例会が楽しく、新しいメンバーが増えることが区中部を活性化させるのだと思います。それぞれのクラブの良いところは伸ばし、問題がある部分は、この問題を解消していれば 自ずとクラブの充実につながる、言葉でいうのは簡単なことなれど、なかなか、これが進まない、できない。そのジレンマを今一度思い起こし、乗り越えたいものです。



来るべき「時」に備える
(今はEMCのC!)

会計：川本 龍資
(名古屋)

今年度も中部部会を皮切りに、中部全8クラブにおいてワイズ西日本区5事業（Yサ・CS・EMC・国際、交流・メネット）が展開されている旨を、11月の評議会にて確認できました事を喜ぶ者です。殊に、Yサ・ユース事業では、YMCA秋プログラム目白押しの中で、シニアボランティアであるワイズメンが、各場面で十分な役割を果たされている事を確認でき重ねて感謝です。

しかし、YMCA・ワイズ共に非常に高い意識・技術・手法で、いわゆる「良いこと」を展開しているのに何故、世間に拡がらないのでしょうか？ 強烈なリーダー不在だから？ 世のタイムリーなニーズに合致していないから？ 展開事業が多すぎて「的」が絞られていないから？ ・・・？だらけです。

でも、少しだけ時間軸を伸ばして考えてみると、強烈なリーダーシップの元では人は育たないし、流行りごととは廃れるのも早い、多様性を受入れる器として「的」の絞込みは相応しくない事が見えてきます。

先ごろ「YMCAブランドコンセプト」として、人が出会える「場」を提供し、協働による相互理解・研鑽を体験・共有し、人として成長し続けるストーリーが示されました。又、ワイズには「ワイズモットー」があります。

私たち、YMCAに連なるワイズメン一人ひとりがまず、この崇高な意識を共有し持ち合わせることが、来るべき「時」の備えとして必要だと思います。EMCのC（conservation）を実践することが、現時点での最優先事項であると確信します。

旧約聖書に「天の下では、何事にも定まった時期があり、すべての営みには時がある」（伝道者の書）とあります。又、新約聖書には「時が良くても、悪くても、しっかりやりなさい」（Ⅱテモテ）とあります。

YMCA・ワイズの考え方が「世」のニーズに合致する時期は必ずやってきます。いつやって来ても良いように、備えを以って地道にYMCA・ワイズ運動を続けたいと思います。



心はいつも青春 を

次期部長：山内ミハル（金沢）

日頃はワイズの活動に御尽力いただき感謝いたします。

私はこの度 2017-2018 中部部長の任を負うことになりました金沢クラブの山内ミハルと申します。メネットとしては 30 余年の経験はありますが、3 年前、夫健司の召天後、正式にメンとして活動をはじめたもので、メネット主査の経験はありますが、メンとしての活動は浅く、責任を果たせるかどうか、まったく自信はありません。しかし、メンバー10名という弱小クラブで、高齢化が進む中、どうしても引き受けざるを得なく、承諾いたしました。未経験な上、微力で、皆様に迷

惑をかけることが多々あるかと存じますが、どうか協力のほどよろしくお願い申し上げます。

【前期報告】

6月11日（土） 第1回評議会

6月25日（土）～26日（日） 西日本区大会

7月30日（土） 金沢 YMCA70 周年記念式典

8月28日（日） 中部部会

に出席し、研鑽と交流を深めることによって、ワイズ活動の意義をさらに深く知ることができ、意欲を高めることができました。

【今後の抱負】

10月22日（土）～23日（日）西日本区次期役員会が大阪で開かれました。その時、次期部長として下記のように報告させて頂きました。

（一部変更することがあるかもしれません）

1. 部長主題

愛し合い、助け合い、心はいつも青春！

2. 活動方針

「楽しくなければワイズじゃない！」をモットーに、第一例会の内容を工夫し、充実させ、メン、メネットそろって出席できるよう努力しましょう。

また、YMCA の活動を活発にし、青年たちが意欲的に参加できるよう支援しよう。

3. 活動計画

- ①名古屋、三重 YMCA をバックアップ
- ②金沢 YMCA の更なる復活をはかる。
- ③富山ワイズメンズクラブの再生を図る。

4. 部行事予定

各クラブが行ってきたそれぞれの行事を継続・発展させる。

部全体としては

中部部会を9月18日（月・祝）に開催

合同メネット会を 2018 年 4 月ごろ開催
YMCA 行事を支援。

金沢クラブのチャーターは 1947 年 7 月、一ヶ月遅れて同年 8 月に名古屋クラブが創設されています。日本では 5 番目と 6 番目にできた古い歴史を持ったクラブです。この 2 クラブが加盟する中部には 8 クラブが所属していますが、会員数が少しずつ減少しているようです。なぜか？理由の一つに、若い会員の入会があまりなく、会員の平均気力に衰えがみられることがあると思います。年齢が年々上昇しているため、体力・気力に衰えがみられることがあると思います。ワイズメンズクラブの目的の第 1 は、「奉仕活動を通じて YMCA の活動を支援する」と西日本区の定款に謳われています。YMCA で育てられた青年達が、将来ワイズメンズクラブの会員として活躍してくれるように、YMCA との絆を強くしておくことが必要ではないでしょうか。

今一度我々の活動内容を見直し、若者たちにとって魅力あるものにしていかなければならないと思います。そのためには私たち自身がワイズメンズクラブの活動を心から楽しみ、活力に満ちた生活をしたいものだと思います。

中部は南北に遠く離れ、8 クラブ中 6 クラブがある名古屋、四日市から見れば金沢は陸の孤島、新幹線が開通した今では、東京に 2 時間ほどで行けるのに、名古屋へは 3 時間もかかるのです。次期中部部長として皆様には迷惑をかけることの方が多いと思いますが、「楽しくなければワイズじゃない」をモットーに頑張りますので、ご協力をお願いします。

「中部並びに各クラブがそれぞれ、一つ一つの行事や活動を実直に展開され、PDCA の手法を活かして実績・成果を上げ、何よりも YMCA に貢献がなされるように見守る」「出会い、ふれあい、響きあい、前へ進める」これをサポートすることを中部監事の役目として今期スタートし、あっという間に、前半戦を終えました。川口中部部長、各クラブ会長を先頭にして精力的に各クラブとも活動を展開してきました。

中部ホームページには半年間の活動模様がつぶさに紹介されています。バスケットボール大会、キャンプ場ワーク、ピースフルサンデー、チャリティ・ラン、国際協力街頭募金、クリスマスカードコンテストなどの YMCA サポート事業や、中部部会、アジア大会、児童キャンプ、DBC 交流、合同クリスマス会、EMC シンポジウム、ワイズコーン販売、農園招待、周年企画などのワイズ主体の地域奉仕事業等々。

全体としての結果は、D（実行）は多彩で華々しくなされているものの、P と C（計画と評価）が弱く、A（改善）にはうまくつながっていないのではないかと感じられます。余力を残しているのかなとも感じます。

是非、参加者皆なで振り返り、財産を共有し合っていきましょう。よく見ると、EMC、Yサ・ユース、地域奉仕・環境、国際・交流、メネットの各事業間に進捗のバラツキも見られ、特に各クラブの活動力点の置き方の差も読み取れます。また、予算的な制約が大きいのかもしれません。良いところ、悪いところを是非お互いに学び合いたい。西日本区の他の部・他クラブからもヒントを得たいと思います。

後半戦には中部主管事業だけでなく、各クラブ主管の事業活動において、従来の伝統にとらわれないで、大胆かつ実直な活動スタイルで挑んでいくことを願うものです。

長年の懸案でもあります情報の内外発信をいかに適時に、効果的に行っていくか、これに



2016-2017 後半戦に向けて

監事；長谷川和宏（名古屋東海）

絞って攻めることも考えられます。

ワイズ主管の活動であっても、計画、目標を策定するうえで、YMCAボランティアセンターや担当スタッフと共同で検討し合ったり、意思統一を図っておくことが、ますます大切になってきていることを感じています。そのことによってワイズメンズクラブ自身、力を付けることができ、各YMCAに対してもっと貢献できると思います。後半戦は各クラブ単位の活動がベースになります。出会い、ふれあい、響きあいを大切に、活動を積み上げ力強いワイズメンズクラブ中部復活を目指していきましょう。



YMCA の行事に積極的に参加しよう！

YMCA サービス・ユース事業主
査

山田 英次(名古屋東海)

上半期の報告は中部ホームページに掲載しましたが、それ以降の報告と後半の予定をお知らせします。

☆11月12日(土)「金沢YMCAフォーラム」が開催され金沢クラブ、金沢犀川クラブのほかユースリーダーが2名参加し、実りある意見交換ができました。

11月20日(日)「ながまちふれあいフェスティバル」に参加し、金沢YMCA・ワイズメンズクラブの活動を展示コーナーで紹介しました。

11月23日(祝)三重YMCA「チャリティーウォーク」がJR四日市駅から旧四日市港まで実施されました。

12月3日(土)「金沢YMCA農園」の収穫作業の実施(金沢犀川クラブ)

12月3日(土)名古屋YMCA第40回「平和の使者クリスマスカードコンテスト」の審査会

12月3日(土)名古屋地区4クラブ「合同ク

リスマス祝会」ユースリーダー25名、インターアクトクラブの顧問・高校生5名を招待。西日本区堤弘雄Yサ主任、中西部西野部長がゲスト参加



12月4日(日)・11日(日)名古屋YMCA「国際協力街頭募金」名古屋地区4クラブが協力



12月13～19日名古屋YMCA「平和の使者クリスマスカードコンテスト」優秀作品を栄市民ギャラリーに展示、表彰式17日(土)名古屋東海クラブ協賛プログラム

12月23日(祝)金沢YMCA「ユニセフ街頭募金」金沢クラブ・金沢犀川クラブ

12月23日(祝)名古屋YMCA「クリスマスキャロル」名古屋地区4クラブ

☆今後の行事として 名古屋YMCAでは

2017年2月22日(水)「ピンクシャツデー(いじめをなくそう)」

3月 第5回名古屋YMCA「チャリティーウォーク(3.11を決して忘れない)」

3月 名古屋YMCA「リーダー感謝会」(卒業するリーダーご苦労様でした)

4月 「東北訪問ツアー」(訪れる事で復興支援を)グランパスクラブ主宰

などが予定されています。ワイズメンの積極的な参加を期待します。まず参加、そして同労の仲間との連帯を！！

広めよう地域に奉仕の輪を！



地域奉仕・環境事業主査
薦田正男（津）

今期中部地域奉仕・環境事業を担当し 中部内各クラブの活動状況を知ることから始めました。10月15日(土)南山クラブ例会 南山農園にて広い農場で農機具を収納するビニールハウスが片隅に設置され、昨年度CS資金を活用され造られたピザ窯が待っていました。この農園を利用して、地域の皆さんとの交流をされています。実りの秋 サツマイモが収穫を待っていました。



10月29日(土)四日市万国会館にて YMCA コカリナ音楽会が開催され地域の人々150余名の参加がありました。四日市クラブが支援しています



10月30日(日)金沢クラブ 恒例の芋煮会内川スポーツ広場で開催されました。今回はYMCAの小学生たちの参加が無かったようです。ゲストもむかえ楽しい会になったようです。



E・M・Cを考えよう



直前部長 兼
中部EMC事業主査代行
荒川 恭次(名古屋グランパス)

日頃私たちは、ワイズ会員が増えたり減ったりするのをEMCと一言で語っていませんか。今一度ロースターの50ページ「ワイズ用語抜粋」6項の「EMC」をご覧ください。

フルネームは

「Extension, Membership, & Conservation」。

“Eは新クラブを設立すること、MCは会員増強と意識高揚をはかること。ワイズメン運動を直接拡大強化する事業である。”とあります。正しく解釈して理解することは大切です。

ワイズメンのある方が定量的に2015年度の東西日本区の現状を分析されました。「20～50代と60～90代の構成比をみると、50.5%・49.5%とほぼ同率の西日本区に比して、東日本区は36%・64%と高齢化が著しく進んでいることが分かります。高齢化は若年会員の入会勧奨の障害原因の一つと言えます。クラブの会員増強は永遠の課題であり、常に「新陳代謝」の必要性を改めて強く認識すべきだと思います。」とあります。

そして、11月26日の中部EMCシンポジウムで定量的にお示しした過去20年間の中部の推移では、クラブ数は12クラブから8クラブ、会員数は223名から95名と減少しています。何とかしなければと誰しも思われるのではないかと思います。他の部ではどうでしょう。京都部は15クラブから18クラブ、会員数は473名から505名。九州部は9クラブから15クラブ、会員数は212名から271名と今なお増加傾向です。この違いは何なのでしょう。もう一つのデータをお示します。

40歳以下の青年会員数は、西日本区全体で

は9.1%です。しかし京都部は15%、九州部では11.5%で、他の部は平均以下です。若いメンバーの多い部は元気が良く、活動的で会員も増加傾向ですが、他は高齢化が進んで衰退しているのでしょうか。以上定量的なデータのみからのコメントですが、やはり地域特性、文化の違いがあるように、各部はそれぞれ違いがあるので、やはり定性的な分析も必要です。冷静に的確なデータ分析（定量的、定性的）を行えば何かしら改善策が生まれると思います。

11月5日6日開催の第2回西日本区役員会で、「ワイズ将来構想特別委員会」の設置が承認されました。これは前述のワイズの現状を打開し、将来的に活性化していこうとする特別委員会で、西日本区組織の横断的委員会で理事諮問機関となるものです。

これまでワイズ活動の活性化に向けては「ワイ

営に活かし、新たなメンバーを受け入れて会員を増加しようとするものでした。しかしここ数年の現状は深刻であり、真剣な取り組みが求められています。先に述べたように「E」と「MC」を「E」と「M」と「C」に分けて役割分担することも考えられます。例えば「E」新クラブ設立は計画的に委員会を設置しての取り組み、「M」会員増強は若手会員による楽しくなるクラブ運営への取り組み。「C」意識高揚は高齢メンバーの培われた経験による知識での取り組みを行う等、この先具体的な取り組みは、西日本区・部のバックアップを得て各クラブが実践する必要があると思います。

このため将来構想委員会は定性的なデータを得るために、来年早々にクラブアンケートの実施が始められます。将来への適切な改善が行えるよう、正確なデーターが得られるよう各クラブはご協力お願い致します。将来のワイズメンのために。

中部クラブ会員年齢表(2015年7月1日ロースター会員数による)																
クラブ名	クラブ 年齢	会員 総数	生年 不詳数	対象 人数	年齢総数	平均年齢	年 代 別 会 員 数									
							90	80	70	60	50	40	30	20		
(中部)																
金沢	66	10	1	9	622	69.1		2	3	3	1					
名古屋	66	27	8	19	1228	64.6	1	3	5	3	3	1	3			
名古屋東海	48	18	1	17	1120	65.9			7	6	3	1				
名古屋南山	44	9	1	8	534	66.8			2	6						
四日市	37	18	2	16	928	58.0			2	6	6	1	1			
名古屋グランパス	22	14	0	14	777	55.5			2	4	5	1	2			
津	22	5	0	5	305	61.0			2	2		2				
金沢犀川	22	5	0	5	363	72.6		1	1	2						
計(8)		106	13	93	5883	63.3	1	6	24	32	18	6	6			
西日本区合計		1611	201	1410	82186	58.3	6	74	233	385	314	262	126	10		
(83)				100%			0.4	5.2	16.5	27.3	22.3	18.6	8.9	0.7		

2016.6.11 第1回評議会



の写真





前期報告、後期への期待

国際・交流事業主査

都築 正和（名古屋南山）

IBC 8月5日 名古屋南山クラブ・台湾ベータークラブ・韓国サーインチョンクラブ
トライアングル交流会（於：台湾・国際大会を利用して）

DBC 10月15日（土）～16日（日）名古屋グランプスクラブ・京都東陵クラブ交流会
（於：犬山）

DBC 11月19日（土）～20日（日）名古屋東海クラブ・奈良クラブ・御殿場クラブ
トライアングル交流会（於：奈良）

今後の予定

金沢クラブ&名古屋クラブの DBC 交流予定報告を聞いております

「出会い、ふれあい、響きあい、前へ進もう」川口部長の主題は当に国際・交流事業の主題でもあるます、前半期 IBC については「国際大会」を利用して IBC 交流を実施されたクラブも多くあったと思います。DBC につきましては小生の所属している南山クラブはブラザークラブを持ってない為、東海クラブのトライアングル交流会に参加させていただきました。熱烈歓迎で大変楽しく、きめ細かいプログラムに感心しました。後半期金沢・名古屋両クラブが DBC プログラムを計画されているとのこと、時間が許せば「参加したい」と思います。

又、2月4日～2月5日東山荘で「東西交流会」が開かれます」参加できればと思っています。



これまでの活動、 今後の活動予定

メネット事業主査

郷戸 正光（四日市）

これまでの活動

① 国内プロジェクトフリースクール「えすぺらんさ」見学と研修

日時:2016年7月23日(土)12:00～15:00

今期のメネット主査研修会に参加してまいりました。総勢 20 名が福岡に集まり、今期のメネット事業国内プロジェクトの支援先である、フリースクール箱崎自由学舎「えすぺらんさ」の見学と、代表を務める小田哲也ワイズ（福岡中央クラブ）より「えすぺらんさ」の活動内容に関する詳しい説明を受けました
不登校など悩みを持つ子どもたちを支援するフリースクールは全国に数多くあるが、「えすぺらんさ」も仲間と共に生き生きとした若者を育てたいと 10 年前に立ち上げられました。少しずつ生徒も増えましたが、環境の整備やプログラムの充実など問題は山積しています。今期は「えすぺらんさ」支援を西日本区として行い、来期以降、中部にあるフリースクールへの支援も検討して行ければと思います。

② 中部部会メネットアワー開催

日時:2016年8月31日(日)11:00～12:00

今期のメネット事業委員会における国内プロジェクト、フリースクール箱崎自由学舎「えすぺらんさ」への理解と支援を求め、同スクール代表である小田哲也ワイズ(福岡中央クラブ)をお迎えして、フリースクールの現状について講演頂きました。

メネットアワーには、岩本悟西日本区理事をはじめ亀浦尚子メネット事業主任とキャビネットの皆さん、中部からもメネットの皆さんはもとより、メンの方も大

勢ぞ出席下さり、総勢50人を超える参加者で行う事ができました。

参加者の皆さんも大変熱心に聴いて頂き、最後の質問コーナーでは、不登校になってしまった子どもたちが、フリースクールでの経験により、学校へ戻って行く割合はどのくらいか？等の活発な質問が出ました。

まだまだ聞きたい事は沢山ありましたが、時間となり閉会となりました。

今期は福岡のフリースクールの支援ですが、中部にも富山YMCAが支援しているフリースクールがあり、このプロジェクトをきっかけに、中部のフリースクール支援も今後検討して行ければと思います。

③ 今後の活動予定

- 1、 富山YMCAフリースクール見学と支援の検討(2017年4月)
- 2、 各クラブメネット活動への参加と報告



更なる絆を育てよう！ 前半期を振り返って

会長 西 信之(金沢)

2016~2017 年度の金沢クラブの会長主題は、「更なる絆を育てよう」であるが、前半期はこの絆を深める数々の催しが多くあった。7月例会ではゲスト会員である山本浩一郎氏の「横浜こぼれ話」の中で、日本の YMCA の発祥の地である横浜でのプロテスタント伝道の始まり、特にヘボンの活躍と明治学院創設に至るキリスト教教育への情熱的な活動について学ぶことができた。暑かった8月には、羽咋の幸正次期会長邸で14名の参加者を得て千路町の夏祭りを見物した後、備長炭で焼いた薫り高い鰻の蒲焼きと幸正シェフの手作りの料理の数々を堪能した記憶に残る会合が持たれた。この地区の邑知潟では昔は天然鰻が沢山取れ、うなぎ屋も多かったそうである。

9月の例会では、フラワー装飾技能士1級の国家資格を持つ中村恵子氏による大きなワイングラスに各自がそれぞれの思いで、カサブランカ、薔薇、トルコキキョウなどを生ける生け花指導があった。各人の特徴ある生け花の写真を見ながら“ああでもないこうでもない”と格闘した時を懐かしく思い出している。10月30日には恒例の芋煮会が、総勢15名の参加で、内川スポーツ広場で開かれた。たっぷりの仙台牛とネギと里芋の、それぞれのうまさが活きた甘辛い独特の味、鍋を煮立てた熾火で焼いたほっかほかの五郎島金時の味も忘れられない。メネット会の主催だからこそ、可能であったイベントであった。

メネット会主催の最大のイベントと言われているのが、もりの里イーストパークで11月24日に開催されたカラオケ大会であった。焼きそば、お好み焼き、フライドポテト、ピザが次ぎ次と並ぶテーブルを囲みながら、普段は予想もできない様々のジャンルの歌の独唱が繰り広げられ、改めて各会員の知らない面に驚かされた楽しいひとときであった。犀川クラブの皆さんや、ゲストの皆さんを交えて25名で祝ったのが12月15日のクリスマス例会であった。山内メンの企画による数々のゲームを楽しみ、参加者全員でプレゼントを歌に合わせて回し、歌の終了時に回ってきたプレゼントを受け取る交換プレゼントも楽しい思い出であった。この前半期は、幸い密度の高い、おいしい思い出に満ちた企画が多く、メン、メネットの間の絆はより強くなったと実感している。

後半期には DBC の蒲生野クラブ訪問や新会員の受け入れ、そして金沢クラブ創立70周年記念事業の準備など全員で取り組まなければならない重要な計画が目白押しである



クリスマス祝会



前期を振り返り、後期に図る

～名古屋クラブの課題と未来～

会長 河部 薫（名古屋）

地平線を表す「一」の上に「日」が登りくる。これが元「旦」。だから元旦とは一月一日の午前のみを表し、午後からは元日となる。

アインシュタインが 1922 年に来日した時、世界に向けて発した言葉がある。「世界の未来は進むだけ進み、その間、幾度か争いは繰り返されて最後の戦いに疲れる時が来る。その時、人類は真の平和を求めて、世界の盟主を挙げねばならない。その世界の盟主たる者は、武力や金力ではなくあらゆる国の歴史を抜き超えた最も古く、最も尊い家柄でなくてはならない。

世界の文化は、アジアに始まり、アジアに帰る。それは、アジアの高峰、日本に立ち戻らなければならない。我々は、神に感謝する。我々に日本という尊い国を作っておいてくれたことを。日の出ずる国、日の本、日本。」昇る朝日に手を合わせて感謝する 崇高で勤勉な国民性に強く心を打たれたと言われる。

私たち日本人、地球人の取り巻く状況は刻々と変化しています。又、ワイズメンズを取り巻く状況も変化しています。変わらないものは、ワイズ活動を通じて「青少年の 社会に貢献できる人格育成をした支えする「精神と心」です。私たちの行いは、地動説を唱えて その当時のカトリック教会の教えを転覆させる異端児として有罪判決を受けたガリレオに似てるところがあると思います。

世のため人のため、青少年のため、世界平和のために、今の自分ができることを と誓って入会した私たちは、一人ひとり小さな存在ですが、力を合わせてワイズ精神の伝播に身も心もささ

げなければなりません。しかし、十二分にやったとは言えません。義務が最優先とはいえ、たくさんの方のスケジュールをこなさきれない悩みがあります。若い力とエネルギーが必要と感じています。そして、諦めないのが私の信条です。楽しく明るくやっていきましょう。 感謝

我がクラブの課題に対して

- ・世代間の意思疎通を図る交流プログラムを実施し、一体感のある活動をする。
- ・入会 3 年未満のメンバーの研修会を実施する。
- ・新入会員の獲得にメンバー全員が日々努力する。（数は、いろいろな意味で力）

YMCA プログラム支援にまい進



会長 浅野 猛雄
（名古屋東海）

東海クラブの上半期の出席率は 10 月、11 月が 100%でそれ以外の月は 91.4%でした、出席率に関しては満足していますが、第一例会以外の会合に出る人が特定の人に偏っているのが気になります、そこで、12 月にメンバーの皆様へ今一層クラブ運営に協力するよう呼掛けを致しました。

特筆すべき例会としては、9 月例会を南山クラブとの合同例会とし、元日本区理事の岡本尚男さんに『クラブ運営の原理・原則』とのテーマで卓話をお願いしたことです。中部部長を始め、在名 4 クラブ全てから参加頂きました。

11 月には国内 DBC クラブで有る奈良、御殿場との DBC 交流会が、奈良であり都築交流主査も参加を頂き、東海からはメネット 1 名を含め 8 名が参加致しました。

YMCA への協力としては、8 月の YMCA 中

学生バスケットボール大会の運営に協力をし、連日大会会場で運営と管理のお手伝いを致しました。



10月末の南山ピースフルサンデーでは、焼き鳥の店を出店し 多くのメンバーが協力を致しました。

11月のチャリティーランには、2チームのチームスポンサーになり、また、飲み物を提供致しました。

12月に行われたクリスマスカードコンテストには、始めた年から毎年協賛金を支出し、表彰式には会長他4名が出席致しました。同じく12月に行われた合同クリスマスには、チャリティーランで走ったインターアクトの高校生と顧問の先生を招待致しました。



今年5月14日に開催される予定の「東海クラブ創立50周年記念例会」に多くの皆様にお越し頂くようお願いをして、私の上半期の報告と致します。

色んなことやってるなあ



会長 杉山弘時
(名古屋南山)

第一例会

7月14日	年次総会	9名参加
8月8日	納涼例会	9名参加
9月15日	東海クラブと合同例会	9名参加
	卓話講師；岡本尚男氏	
	テーマ；クラブ運営の原理・原則	
10月15日	農場例会	9名参加
11月10日	卓話 講師；青木哲史氏	9名参加
	テーマ；ノリタケの歴史	
12月3日	合同クリスマス会	9名参加

その他の参加行事

8月4日～7日 国際大会
台北ベータクラブ、韓国新仁川クラブとの
トライアングル交流会も実施

8月26日	中部部会
10月2日	国際協力ボウリング大会
10月22日	じゃがいも荷下ろし
10月30日	ピースフルサンデー
11月3日	フェローシップ In 南山
11月12日	チャリティー・ラン
12月11日	国際協力街頭募金
12月23日	クリスマスキャロル
	In タワーズライツ

南山ワイズ農場関係

10月15日	第一例会	15名参加
10月16日	刈谷野外キッズ	40名参加
10月18日	ゆたか福祉会希望の家	8名参加
11月1日	明星幼稚園遠足	50名参加
11月2日	かみさわ保育園遠足	30名参加
11月3日	フェローシップ In 南山	60名参加
11月8日	ラ・パン	10名参加
11月10日	南山幼稚園遠足	60名参加
11月20日	南山幼稚園ファミリー	30名参加
12月11日	刈谷野外キッズ	15名参加



前半期を振り返って



会長 塩川 彰彦
(四日市)

1. 2016-2017年度、四日市クラブの活動をお伝えいたします。

所属メンバーの脱会者がここ数年相次いだ四日市クラブは、2016年7月以降、例会においては従前の形式化した進行方法をすべて無視し、方針を、「ビジターの、ビジターによる、ビジターのための例会を行う」としましたので、ビジターを迎えるだけの例会を行ってきました。

楽しい、ビアホール例会、パスタ例会、「ハロウィン」変装お化け例会、フラワーブリザーブド講師例会などを開催してきましたが、少なくとも過去3～4年間のいがみ合った雰囲気だ

けはない例会となりました。



2. 後半期の活動予定

2017年1月以降後半期も、ビジターズ例会ということで、多くのビジターの方々に参加していただくプログラムを準備してまいります。

FM局のフリーアナウンサーによる「好感を持たれる話し方講座」、演出家による「演劇を楽しむ講座」「英語による漫才」例会等です。

とにもかくにも、「楽しい例会をやってるな」みたいな印象をもってもらえるよう努力してまいります。

最後に、今後、四日市クラブがビジネスサポート団体に変質していく5～10年後を目標に、『婚活活動支援』、『地元物産販売支援』、『外国語レッスン講座支援（英語、韓国語、中国語、スペイン語、ポルトガル等）』、『国内・韓国観光ツアー、K-POPおっかけツアー企画支援』などのプロモーションを展開していくこととしました。

トランプ式、言いたい放題、やりたい放題で開始いたします。



写真で魅せます 前半期のクラブ活動

会長 早川 政人
(名古屋グランパス)

2016年 7月2日(土)～3日(日)

浜名湖1泊例会 今期の行事予定確認等打合わせ



2016年 7月9日(土)～10日(日)

日和田キャンプ場整備

夏のキャンプシーズンに向けての整備は毎年のことですが、今シーズンは早くなり、グランパスのメンバーも少なく期待通りの整備はできませんでした。毎年、キャンプ場の整備には若いリーダーの活躍が大変な力になります。

Y,sのメンバーの体力は当てにならず、邪魔をしない程度の事をしますが、テントの防水等の作業は枚数が多く、それはY,sの担当ですので、人数が多くいけばはかどります。無事にキャンプができればと思い、終了したときにはホッとしました。



池下まつりの下見をしました。多くの屋台が出店をしていましたので、YMCAをアピールをする良

い機会だと思います。次年度には是非に参加をしたいと、我々のメンバー各位の意見です。



2016年 8月3日～7日

第72回国際大会(台湾 台北) 荒川ワイズ参加

※ 荒川ワイズ エルマークロウ賞 受賞

(9月21日ノリタケの森にてお祝い会)



2016年 8月

学童キャンプ支援として日和田の高根コーンの販売で売り上げの利益を支援金にしました。学童キャンプには吉田ワイズが参加しました。



2016年 8月28日

第20回中部部会 名鉄グランドホテル

2016年 9月10日

名古屋 YMCA 5階で青木ワイズがソムリエ協会のワイン検定を実施しました。メンバーは全て合格

でした。



2016年 10月15日～16日

京都東稜クラブとの合同例会

名古屋を離れて犬山の鶴飼見物でしたが、少し肌寒い気候でしたが食事にお酒に、お互いのクラブの交流を深めました。翌日は明治村へ行き次回の交流を約束しました。



前期報告、後期に向けて

会長 亀野 貞（津）

6月11日 中部評議会 名古屋 YMCA

（2015～2016）期総括、（2016～2017）期方針

7月13日 7月例会 アスト津

（2015～2016）事業会計報告

（2016～2017）事業計画

ファンド事業（ジャガイモ）計画策定

8月6日 8月例会 亀山コメダ 職場訪問

（その2 8月10日 津めんや）

8月28日 中部部会

名鉄ニューグランドホテル

講演；国際協力の意義：五月女光弘氏
メネットアワー；

フリースクール箱崎：小田哲也氏

9月14日 9月例会 アスト津

ファンド事業. ジャガイモ搬送宅配タ
イムスケジュール打ち合わせ

10月4日 三重 YMCA 幼児園運動会

四日市緑地公園体育館

10月5日 ファンド事業ジャガイモ搬送宅配

10月12日 10月例会

ファンド事業総括

10月15日 南山農場オープンプログラム

（これからの予定）

1月14日 1月例会

心豊苑 新年もちつき大会

後期にむけて

当初、新たな決意で計画を立てたが、不発に終わってしまった。後期は、新年もちつき大会の成功を期したい。

何度も言います。

平和を実現しよう！！



会長 平口 哲夫

（金沢犀川）

会長主題「平和を実現しよう！」

Let's be the peacemakers!

この主題に合わせて、ブリテンの「今月の聖句」を選び、短い解説を添えた。ブリテンの発行は「該当月の前月末までに」を目標としているが、しばしば、諸般の事情で該当月にずれ込んだ。

【第一例会】通常は第2木曜 19:00～21:00、金沢都ホテルにて(改築のため2017年3月まで)。

7月14日(木)：キックオフ特別例会。卓話「第19回東日本大会に参加して」平口哲夫氏、「第19回

西日本区大会に参加して」北 肇夫ワズ



8月11日(祝・木):卓話「金沢市議議員一年生の思い～議会からみえるいろいろなこと～」熊野盛夫氏(金沢市議会議員)。

9月18日(日):メット強調月間特別例会～寺町寺院群“忍者寺”と“にし茶屋街”をそぞろ歩き～、和風レストラン“きたま”で昼食。



10月23日(日):焼肉特別例会、焼肉料理店“韓の家”にて。

11月10日(木):中部部長公式訪問～ピアノ演奏のタベ～、卓話「パリのピアノ詩人ショパンと近代フランスの調べ」鈴木三知子氏(ピアニスト)、竹中チャペルにて。



12月15日(木):金沢クラブ・金沢犀川クラブ合同クリスマス特別例会、金沢ニューグランドホテルにて。

【第二例会】通常、第4木曜19:00～21:00、竹中チャペル(竹中歯科医院3F)で議事中心に。会員増強という継続課題についての申し合わせ①具体的に候補者を立てて交渉する、②例会のゲスト参加者が増えるようにチラシを早めに作成して知人に働きかける、③負担が過度にならないように身の丈に合った活動をする、④それぞれ得意な分野で貢献するよう心がける。

【その他の参加行事】

7月30日(土):金沢YMCA創立70周年記念式典。

7月～12月:金沢YMCA農園体験、北陸学院三小牛キャンパスにて。

8月28日(日):第20回中部部会。

10月16日(日):金沢市一斉美化キャンペーン。

10月30日(日):金沢クラブ・メット会主催“任煮会”、金沢内川スポーツ広場にて。

11月12日(土):金沢YMCA会員フォーラム、北陸学院大学ライオン館にて。

11月20日(日):金沢市青少年団体協議会主催“ながまちふれあいフェスティバル”。

11月26日(土)、中部評議会・中部EMCシンポジウム、名古屋YMCAにて

12月23日(金・祝):第38回エセフ・ハッド・イン・ハッド募金、金沢市堅町商店街入口付近にて。